

2019年9月26日

各位

三菱UFJ信託銀行株式会社

情報銀行プラットフォーム「Dprime」公式ロゴマーク及び提供スケジュール 決定のお知らせ

三菱UFJ信託銀行株式会社(取締役社長 いけがや みきお 池谷 幹男)は、情報銀行プラットフォーム「Dprime」(*1)について、公式ロゴマーク及び提供スケジュールを決定したことを、下記のとおりお知らせいたします。



1. 「Dprime」ロゴマークの背景・コンセプト

これまで個人が日々生み出す大量のデータは、個人が無認識又は利用目的を十分に把握しないまま、それぞれの企業によって収集・利用・販売されてきました。

Dprime は、個人の明示的な同意に基づいてお預かりしたパーソナルデータを、弊社による厳正な審査を通過した企業に活用してもらうことで、新しい体験や利用者にあったサービス、金銭を受け取ることができる新しい仕組みです。

「データを可能性に変えよう」というブランドコンセプトのもと、Dprime 利用者一人ひとりを起点に企業のイノベーションが加速し、日々の生活の質が向上していく世界を目指します。

本サービスロゴは「data の d」と「prime の p」を組み合わせ、個人の大切なパーソナルデータが持つ可能性と、それらを大切にお預かりする堅確さを表現しました。

個人と企業との長期的な関係構築を支える架け橋となる決意とともに、情報銀行という新たな業界の創成を“暁”を意味する段階色で表現しています。

*1 2018年7月18日付プレスリリース「新たなデータ管理サービス提供に向けた実証実験の開始について」

https://www.tr.mufig.jp/ippan/release/pdf_mutb/180718_2.pdf

2. 提供スケジュール

2020年4月にモバイルアプリケーションの提供開始を予定しています。企業へのデータ提供に備えて、個人の意思で無理なく自動でデータを集める（下表①）、生活を可視化する（同②）、データを資産として収集することで新しい体験の機会*1を得る（同③）、といったことが可能になるモバイルアプリケーションとしてご利用いただけます。

2020年10月には、個人の明示的な同意によりデータ利用企業へデータ提供ができるようになる予定です。この機能追加により、利用者に最適なサービスをデータ利用企業から受け取ることが可能になる（同④）ほか、ウォレット機能の追加により金銭がデータ対価として受け取り可能となります（同⑤）。

	2020年		
	4月	10月	11月以降
①データ自動収集機能 (収集対象は個人が明示的に選択)	利用可能	収集可能先 拡大	収集可能先 継続拡大予定
②収集データ可視化機能 (集めたデータをグラフ化し示唆を得る)	利用可能	可視化可能先 拡大	可視化可能先 継続拡大予定
③データ収集インセンティブ機能 *1 (データを貯めるほど便益を得る)	利用可能	同左	同左
④オファー+サービス受領機能 *2 (個別許諾のうえデータ提供しサービスを得る)		利用可能	同左
⑤オファー+ウォレット機能 (個別許諾のうえデータ提供し金銭を得る)		利用可能	同左

*1 データを多く収集した利用者が魅力に感じて頂けるような体験型イベント等を検討しています。

*2 データ利用企業からのデータ提供オファーに対して、利用者が個別に許諾を行い、その対価として利用者に最適なサービスを受けることができます。

今後も三菱UFJ信託銀行は、信託機能と新しいテクノロジーの積極的な活用を通じて、様々な社会課題の解決に貢献してまいります。

以 上